

NEXCO西日本グループのあゆみ ~民営化15年~

1956~2004

- 1956** 日本道路公団発足 
- 1963** 日本初の高速道路
名神高速道路(栗東IC~尼崎IC間)開通 
- 1965** 名神高速道路 全線開通
- 1970** 日本万国博覧会開催 
- 1980** 磁気カード式通行券の実用化 
- 1983** 中国自動車道 全線開通
ハイウェイラジオ放送開始
- 1991** ロゴマーク(CI)の導入 
- 1992** 高松自動車道・松山自動車道・高知自動車道が直結
- 1995** 阪神・淡路大震災発生
高速道路にも甚大な被害 
- 九州自動車道 全線開通
- 1997** 山陽自動車道 全線開通
- 2001** ETCの運用開始
- 2004** スマートインターチェンジの導入開始

2005~2010

- 2005** 10月：道路関係四公団の民営化
西日本高速道路株式会社設立 
- 12月：グループ会社の設立(以降、順次設立)
- 2006** 4月：ブランドネーム、
ロゴマーク決定 
- 2007** 11月：阪和自動車道 全線開通
- 2008** 2月：新名神高速道路
(亀山JCT~草津田上IC)
開通 
- 11月：ハイウェイ交通情報提供
『i Highway』サービス開始 
- 2009** 3月：休日高速道路料金
上限1,000円、平日3割引等
利便増進割引の試行
- 2010** 3月：第二京阪道路
全線開通 
- 6月：高速道路無料化
社会実験の開始(2011.6まで)

2011~2015

- 2011** 1月：海外点検業務等への参入を開始
3月：東日本大震災発生
- 2012** 11月：大分自動車道 山田SA下り線が
「エコエリア山田」としてリニューアルオープン
太陽熱・排熱活用など環境新技術を導入
12月：中央道笹子トンネル
天井板落下事故発生
- 2013** 4月：京都縦貫自動車道
(沓掛IC~大山崎JCT・IC間)開通
- 2014** 1月：高速道路
リニューアル
プロジェクト
発表 
7月：舞鶴若狭自動車道 全線開通
12月：東九州自動車道今川PA(上下)オープン
- 2015** 3月：徳島自動車道
(鳴門JCT~徳島IC間)開通
高松自動車道と徳島自動車道が
ダブルネットワーク化
6月：茨木技術研修センター「I-TR(アイトレ)」開設 

2016~2020

- 2016** 4月：熊本地震発生 
4月：新名神高速道路有馬川橋
橋桁落下事故 発生
東九州自動車道(椎田南IC~豊前IC)開通
北九州市から宮崎市が直結 
- 2017** 6月：近畿圏の新たな高速道路料金の開始
(対距離制への移行)
- 2018** 3月：新名神高速道路
(高槻JCT・IC~神戸JCT)が全て開通
宝塚北SAオープン 
11月：2025年大阪・関西万博
誘致決定
- 2019** 5月：元号が「令和」に改元

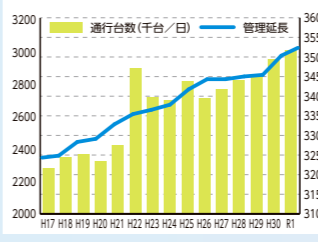
民営化15年の成果

①有利子債務を確実に返済
高速道路機構の債務残高が、民営化15年で約10兆円減額し、確実な返済を進めました。


高速道路機構の債務残高*		
2005.10 (民営化)時点	2019.3 時点	減額
38.2兆円	27.5兆円	▲10.7兆円

2019年3月時点
※全国路線網(NEXCO3会社)、首都高速道路、阪神高速道路、本州四国連絡高速道路、及び一の路線の合算値

②高速道路の着実な整備
・民営化15年で273kmの高速道路を開通
・利用台数が年間で約2.6億台増加
高速道路の着実な整備と利用促進が図られました。



③多様なサービスの提供
・地域と連携した周遊割引の実施
・SA・PAでの快適なトイレ空間の創出
施設の充実によるサービスの向上とともに地域との共生を推進しました。



宝塚北SAのトイレ

NEXCO西日本グループレポート2020
特集
ステークホルダーとともに
より広い社会、未来への働きかけ
データ集